

# 美々川だより

Bibigawa News Letter Vol.5

平成20年7月発行  
発行/北海道室蘭土木現業所

## 『駒里探検隊～美々川の自然環境を発見しよう～駒里小学校』が開催されました

室蘭土木現業所では、平成18年度より広く美々川・ウトナイ湖を知ってもらうことを目的として、さまざまな地域活動を行っています。今回は千歳市立駒里小学校の皆さんと一緒に室内学習、遠浅川再伏没化試験地の見学及び、美々川に生息する魚や植物の観察を行いましたので、その結果をお知らせします。

去る6月13日(金)、『駒里探検隊～美々川の自然環境を発見しよう～駒里小学校』が駒里小学校体育館、遠浅川再伏没化試験地、美々橋周辺にて開催され、小学生14名と教職員5名、児童父母の方々5名が参加されました。

『駒里小学校～美々川の自然環境を発見しよう～駒里小学校』は、美々川周辺の自然環境について理解を深めようと、駒里小学校を中心として室蘭土木現業所が協力した地域活動の一つです。

今回は、駒里小学校において「美々川の自然再生の取り組み」「樹と水のお話」の室内学習、「遠浅川再伏没化試験地」の見学、美々橋周辺では実際にゴムボートに乗り美々川に生息する魚や植物を観察しました。



### 当日のスケジュール

13:00	室内学習 美々川の自然環境と自然再生の取り組み 樹と水のお話し
13:45	遠浅川再伏没化試験地の見学
14:00	美々川に生息する動植物の紹介
14:30	美々川ゴムボート下り・動植物の観察

『美々川の自然環境と自然再生の取り組み』『樹と水のお話し』

美々川と湧き水の関係や美々川の変化と取り組み、森・樹や水、生きものについて学習しました

駒里小学校の体育館で、スライドを用いた室内学習を行いました。

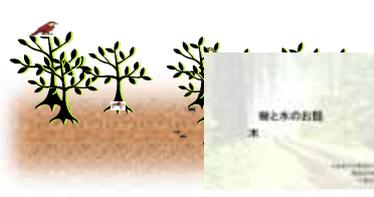
美々川と湧き水の不思議な関係、駒里周辺の地層の謎、美々川に生息する魚や植物、美々川の昔の様子、美々川の自然再生の取り組みについて学習しました。

「美々川の自然環境と自然再生の取り組み」では、美々川と駒里小学校の近くを流れる遠浅川が地下でつながっていること、美々川ではクサヨシが増え、川の水面がすくなくなっていることを紹介し、クサヨシを刈り取り昔のようにカヌーが通れるように水面を広げる取り組みについて学びました。

次に、北海道大学 大学院 環境科学院環境起学専攻の工藤ゆり子さんから「樹と水のお話し」と題して、森はたくさんの生き物が暮らしていること、森は水をきれいにすること、森は水に栄養をあたえること、森は水の中の生き物が暮らす場所をつくることなどについて紹介していただきました。



森にはたくさんの生きものがくらしています。

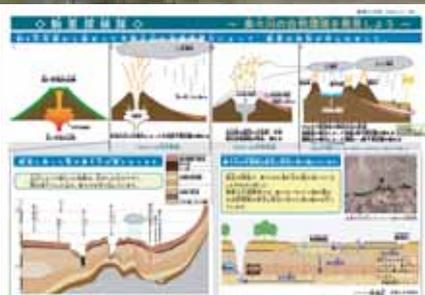


遠浅川再伏没化試験地

とおあさがわさいふくぼつか

遠浅川再伏没化試験地の施設見学、駒里周辺の地層の成り立ちを学びました

試験地では工事をしている方々から支笏火山、恵庭岳、樽前山の噴火による地層の成り立ちや、試験地に遠浅川の水を伏没（地面の下に水を浸み込ませる）させ、地下でつながっている美々川の水の量を回復させる「遠浅川の再伏没化」の試みについての試験内容の説明を受けました。



## ボート下り

児童や父母の皆さんと一緒に、ゴムボートで川下りを体験しました！



## 美々川に生息・生育する動植物

美々川にすむ魚や動物、水草を知ろう！触ろう！

美々川には、ハナカジカ、エゾウグイなどの魚がすんでいます。また、美々川の周辺には、フクロウ、アカゲラなどの鳥や、エゾリス、シマリス、エゾタヌキ、などの動物がすんでいます。美々川に生育する水草はバイカモ、エゾミクリなど16種類あることがわかりました。現地では、美々川にすむ魚や植物、美々橋周辺の移り変わりなどについて、ゲーム形式やクイズ形式で学びました。



## アンケート感想

### 美々川・ウトナイ湖についての日頃のイメージや、

### 活動の感想を聞きました

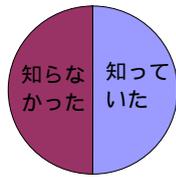
最後に今日の感想や、美々川に対しての日頃の印象についてアンケートに答えていただきました。美々川の環境についてもっと知りたいとの声を聞くことができました。ほとんどの児童たちに「よかった」「またやってみたい」などを答えていただきました。



## 児童たち・父母の方たちの主な感想

駒里小学校の近くで降った雨が、美々川の源流部に流れていっていることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった



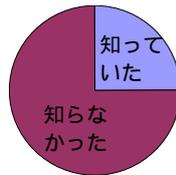
美々川には、たくさんの動物や植物がいることを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった



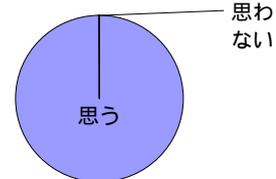
駒里小学校の近くの地形は、支笏火山の噴火によって作られたことを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった



美々川の自然、動物や植物を守ることは大切だと思いますか。

1. 思う
2. 思わない



- ・ ゴムボートは最初は揺れたけど楽しかったです。クサヨシが多くなって、水草がなくなっているということを知りました。
- ・ 美々川や駒里の身近な問題について気付いていない点がたくさんありました。美々川の自然環境について、地域の方も交え考えるよいきっかけになりました。(父母)
- ・ 美々川の美しさに感動し、絶対に大切に守らねばならない大切な場所だと感じました。美々川の自然を、ふるさとの原風景として心に持ち、育てることは、変えがたい幸せだと思いました。美々川の本来の姿を取り戻す取り組みを、皆さまが進めていることを今回学ばせていただき、改めて美々川を大切に守りたいと思いました。(父母)
- ・ 子供たちは美々川のことを耳で聞くよりも、実際に目で見て、身体で感じることであったのではないのでしょうか。これからも、美々川の植物や生き物の様子を、子供たちと一緒に伝えられたらと思います。子供たちなりに考える良い機会となったのではないのでしょうか。(父母)

## おわりに

今回の活動を通して、児童たちやその父母の皆さんが住んでいる駒里周辺をはじめとする美々川には緑豊かな自然環境が残っていることなど、新しい発見をしてもらえたのではないのでしょうか。

また、美々川の湧き水の量を回復させること、クサヨシを刈り取り昔のように丸木舟が自由に通れる水面に戻す取り組みについて知っていただけたのではないのでしょうか。

今回の結果を、今後の美々川の自然環境の保全・再生に生かしていきたいと思えます。

## 今後の予定

室蘭土木現業所では、今後も地域の皆さんの協力を得ながら、地域の小中学校を対象として、川歩き・魚すくいなど、遊びを通して川を学ぶ機会を提供できるプログラムを継続的に実施していきます。